



町長と語ろう！

***東中倍本地区の皆さん
*かみふ子育てネット「くるくる」**

町内のグループや団体、町内会などが町長とさまざまなことを語り合う「町長と語ろう」。

12月26日に東中倍本地区の住民9人、1月27日にはかみふ子育てネット「くるくる」の会員9人が、上富良野町で生活するうえで抱えている身の回りの問題について、町長と熱心に語り合いました。

問合せ 町民生活課自治推進班 ☎6985

12/26

東中倍本地区と語る！

◆東中倍本地区住民（以下、倍本地区）

東中倍本地区では東中倍本地区演習場問題協議会を発足し、陸上自衛隊の演習場が近いために起こる問題について協議しています。

防衛省による演習の砲撃音に対する防音工事をしてもらいました。

◆**倍本地区** 自宅の防音工事で砲撃音がとても静かになりました。対象外の地域でも騒音に困っている方には、防音工事をしてほしいです。

◆**基地調整室長** 平成24年6月に防衛省が、東中地区で防音が必要と思われる区域を防音区域に指定し、区域内の15戸のうち6戸が工事の対象となりました。平成26年には騒音の測定器が倍本地区の浄水場に設置され、地域の方にも数値が通知されるようになっていきます。防音工事の指定区域の拡大については、この数値を基に、町と北海道の基地対策協議会から防衛省や財務省に要望しているところです。

●**町長** 防音関係は、いち早く国へ要望する必要があると思っています。より詳しい数値により、工事区域の拡張を要請します。

◆**倍本地区** ポロピナイ川の脇道を通って畑に行きたいが、立木で通ることができないので切ってほしいです。

◆**建設水道課長** ポロピナイ川の本町の管理なので、来年度から計画的に対処していきたいと思っています。

演習場周辺地区自治活動奨励事業補助金には公共施設管理維持事業という項目があり、地域で伐採していただければ、補助金を支払うことが出来ます。協力をお願いしますか？

◆**倍本地区** 川の中は無理でも、川縁なら地域で切ることが出来ます。

●**町長** できないところは町で対応しますが、地域の皆さんにも協力していただければと思います。

河川を利用した水力発電

◆**倍本地区** 農家の方も、収支の中で電気代が占める部分が大きいと聞きます。倍本地区の川を使って、水力発電はできないでしょうか？

●**町長** 地域資源の活用はますます求められると思います。農業用水として使われている河川は水利権の問題もあり、水力発電への利用は難しいかと思いますが、町内には農業用水に利用していない河川が2河ありますので、水力発電が可能か北海道立総合研究機構と北海道科学大学に可能性などについて検討をお願いしているところです。

町でも、白銀荘や上富良野小学校ではヒートポンプで省エネルギー化に取り組んでいますので、可能なものは検討します。

文化財を守るために…

◆**倍本地区** 倍本地区から引越した方から木彫りの熊を預かりました。

この木彫りは、松浦武四郎が東中地区を歩いたときにガイドをした「クウチン」の孫が昭和初期に作ったものです。このように珍しい物が時間とともに失われる心配があるので、町でも調査・鑑定することで、保存されていくと思います。

東中地区の記念誌には記録が残っていますが、ほかの地区については分からないので、広報誌などで町民の皆さんに尋ねるのもいいかと思っています。

●**町長** 個人が所有する文化財を郷土館で所蔵することは可能です。

町内では「郷土をさぐる会」が熱心に取り組んでいますし、教育委員会で対応できないか検討させていただきます。



かみふ子育てネット 「くるくる」と語る！

❑かみふ子育てネット「くるくる」会員(以下、子育てネット) 昨年、「育児サークル連絡協議会」が「かみふ子育てネット」「くるくる」になり、子育て中のお母さんたち主導での活動が始まりました。これにより、個人の意見を言ったり新たな活動の提案がしやすくなり、7月に映画「うまれる」の自主上映会を行うことができました。

また、子どもが成長し、育児サークルから離れた人も、希望すれば個人会員として講演会やイベントなどの情報を得られるのも良くなった点です。

◎町長 子育てネットの誕生で、子育ての情報を広く発信していただけるのは大きい。今後も活動を広げていただきたいです。

❑子育てネット もっとこの会を知っていたくために、町からも町民の皆さんに周知していただきたいです。

町内に小児科・産婦人科を

❑子育てネット 育児サークル内のアンケートでは、「町内に小児科が必要」「小・中学生の医療費の自己負担免除」についての意見が多く出ました。

❑子育てネット 1歳にならないと町内の内科では診察してもらえないので

富良野市の小児科に通院していますが、地元の小児科があると安心です。

◎町長 小児科と産婦人科は専攻する医師が少なく、旭川医科大学病院でも医師の確保が大変な状況です。まずは出産する方のために、富良野協会病院内にある周産期医療センターの機能維持を富良野圏域として支援します。

予防接種と医療費の助成

❑子育てネット 定期の予防接種を火曜日だけではなく、土日でも月1回受けられたらと思います。働くお母さんは仕事を抜けて病院に来ており、混む日などは接種に時間もかかり大変です。

❖保健福祉課長 土日の予防接種を行うには診察する医師の確保が必要なので、町立病院とも相談します。

◎町長 予防接種を受ける利便性を向上するためにも、参考意見として受け止めさせていただきます。

❖保健福祉課長 病気になるてからの支援も重要ですが、病気を予防するための支援も重要ですので、来年度には任意の予防接種費用について、助成の拡大が図られるよう検討しています。

❑子育てネット 町内では小学生の医療費が3割負担ですが、中富良野町では小学生まで無料です。町でも軽減してもらえればと思います。

◎町長 病気の子どもの医療費を支援するのほむこの考え方ですが、私は

医療も含め、安心して子育てができる環境整備が必要と考えています。どのような支援が必要かと思えますか？

❑子育てネット 子どもの年齢や人数で意見が違つと思いますが、医療費の支援があると、持病がある子どもがいても安心感があります。

子育て世帯への生活費支援なら、厚着をして暖房費を削るなど、自分で工夫すれば生活費の調整もできるので、医療費支援の方が必要です。

◎町長 町でも定期的な受診が必要な家庭への支援は考えています。

医療費を無料化したいという気持ちもありますが、ほかの自治体では無料化により安易な受診が増え、緊急を要する治療ができずに病院が困るという実態もあります。皆さんの意見を反映するためにもさらに意見をいただき、今後に生かしていきます。

町外の病院へ行くために

❑子育てネット 子どもの通院で旭川行きのバスに乗りますが、本数やバス停が増えれば使いやすいですね。

◎町長 交通手段を持たない人が、富良野市の小児科に行くときはどうしていますか？

❑子育てネット 基本的にはバスとJRを利用していきます。交通手段がない場合はタクシーです。

◎町長 病院へ行くための移動手段が

ないのは大変です。バスやJRを整備するのは、子育て環境を向上させるためにも大切だと感じています。

❑子育てネット バス停や駅まで子どもを連れて歩いて行きますが、遠いので子どもが病気の時は大変です。

❑子育てネット 高齢者の移送サービスのよつに、ファミリーサポートセンターを使つての送迎はどうですか？

◎町長 高齢者のような有償運送は整備に時間がかかる部分もある。町外へタクシーを使わず行けるよつ、富良野圏域の交通について考えていきたいと思つています。

